

赤ちゃんから親しむ伝統芸能  
雅楽(ががく)と筑紫舞(つくしまい)



としまがく

## 南としゃかん子どもフェスティバル ～南としゃかんでワクワク体験しよう～

### 第27号の主な記事

- 1面 南としゃかん子どもフェスティバル・読書生活
- 2面 南としゃかん子どもフェスティバル  
ハーバリウムをつくって贈ろう・司書のお気に入り
- 3面 電話自動応答サービスについて・調べ方のツボ
- 4面 しせつめぐり・第14回宇都宮市国際交流プラザ



ミニ・ソーラーカー

↑ ↓ 宇工生、大活躍！

ミニ・新幹線



第27号  
令和元年8月1日  
宇都宮市立  
中央図書館  
東図書館  
南図書館  
上河内図書館  
河内図書館

読めば  
愉快だ  
宇都宮  
UTSUNOMIYA

## 読書生活



宇河中教研  
学校図書館部会長  
氷室 清

読むこと・書くこと

今は中学校の校長をしています。長らく小学校の校長として読書感想文コンクールの審査などに携わっていました。審査をしていて感じたことは、優れた読み手は必ずしも優れた書き手とは限りませんが、優れた書き手は例外なく優れた読み手であったことです。書き慣れることによって、書き手である筆者・作者の考えや思いが、より深く文面から読み取れるようになるのだらうと感じました。より深く読めるようになれば、さらにより深く書けるようになり、そしてまたそのことで一段と読み方が深くなります。読むことと書くことの、相互作用と言えます。

読むことは心を豊かにしてくれます。そして書くことは知恵を育ててくれます。何のために心を豊かにし、知恵を育てるのか。それは、心と知恵を用いて周囲の人を幸せにするためではないか、と私は思います。その結果として、それぞれの人生はひとときわ輝くものになると信じています。



5/19 (日) 南としょかん子どもフェスティバル

7回目となった子どもフェスティバル。来場者数は過去最高の6,600人でした。参加者の声を紹介します。



### ★司書のついでたいけん



図書館で実際に使っている機械で、本の貸し借り等を体験できます。

・本当のお仕事ができ、うれしかったです。  
・またやりたい。  
・もっとやりたいかったです。  
・わかりやすい言葉で話してくれて、楽しかったです。  
・思ったよりむずかしかったけど、楽しかった。

### ★クイズラリー



図書館で用意したクイズの答えを、館内のヒントを頼りに探します。

・かんたん。楽しかった。  
・記念品、うれしい！  
・記念品は学校でつかえます。

### ★種まき体験



図書館の花壇に、ボランティアさんに教わりながら、朝顔のタネをまきます。

・学校でも去年は朝顔、今年はミニトマトを育てているので、種まきは難しくなかった。楽しかった。  
・図書館に来るときは、大きく育ったか見に来ます。

「ハーバリウムをつくらう！」



5月11日(土) 河内図書館で、日本ハーバリウム協会認定講師の星川愛里子さんを講師にお招きし、母の日イベント「ハーバリウムをつくらう！」を開催しました。

2歳から大人の方まで幅広い世代の延べ48人が参加しました。

まず、瓶を選びます。次に、ピンセットを使い、たくさんある中から好きなプリザーブドフラワーを瓶に詰めていきます。お子さんは、慣れないながらも一生懸命に花を詰め込み、大人の方は、色のバランスや、花の長さに熟考を重ね皆さんとても真剣な表情で作業を進めており、作品に懸ける熱意を感じました。最後に、オイルをそっと流し入れ、仕上げにラッピングや思い思いのメッセージカードを添えて完成しました。皆さん両手で大切にそうに瓶を持って帰られる姿が印象的でした。



↑ 会場の様子

## 司書のお気に入り



「びんぼう自慢」

古今亭志ん生・著 筑摩書房

昭和の名人、五代目古今亭志ん生の自伝。逸話の多い人とは知っていましたが、想像を絶する貧乏生活。だからといって悲惨というわけでもありません。文章全体が話し言葉で書かれているからか、まるで落語の世界に入り込んだような愉快さ。中でもなめくじ長屋のエピソードは必読です。



「ムーミン谷の彗星」

トーベ・ヤンソン・著 講談社

図書館が大好きで、母と弟と通い詰めていた小学生のころ、初めて読破した長めの本がこちらでした。

ある晩、ムーミン達の暮らす谷が大雨に見舞われ、翌朝には何もかもがどす黒く染まりました。謎を解くためにムーミンと友達達は旅に出ます。挿絵が多いので、情景を思い浮かべやすいのもおすすめポイントです。

# 電話自動応答サービスが便利です！

このサービスの電話番号 **028-638-5700**

利用時間 午前8時30分から午後8時まで



このサービスでは、

## ① 利用案内

## ② 貸出状況の確認

## ③ 予約受待ち状況の案内

## ④ 貸出延長の申込み

を電話で確認や手続きすることができます。

ご利用の際は、お手元に図書館の利用カードをご用意ください。

(※番号がPで始まる旧図書館利用カードをお持ちの方は、新カードへ切り替えた後にご利用ください。)

## ご利用方法

028-638-5700にダイヤルします。

音声案内に従って、ご希望の番号を押してください。

← 利用案内をお聞きになりたいときは**①**

貸出中資料の返却予定日を確認したいときは**②**

予約受待ち資料について確認したいときは**③**

貸出資料の延長をしたいときは**④**

← 音声案内に従い、図書館の利用カード番号を入力し、最後に

「#」を押してください。

← 音声案内に従い、本人認証のため生年月日8桁を入力します。

1973年4月3日生まれの場合、「19730403」となります。

## 貸出延長をご希望の方へ

◎延長したい資料をお手元にご用意ください。

◎貸出期間内に手続きしてください。

◎次に予約が入っていない場合、1回限り貸出期間を手続き日から2週間延ばすことができます。

◎返却予定日が過ぎている資料、1回延長済の資料、相互貸借資料は延長することができません。



実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

## ファイル .. 32

文化十年（1813年）一月に発生した「宇都宮大火」の被害について書かれている資料はないか。



## 調べ方

宇都宮市に関する地域資料のうち、「歴史」分野の資料だけでなく「消防」に関する資料からも調査しました。また、火災は宇都宮市街中心部で発生したため、「荒山神社関係」の資料も確認しました。

## 回答

文化十年の火災は、屋敷八軒、町家六二〇軒、百姓家二一四軒、土蔵六二戸前、寺六か寺、社一字などを焼失した大きなものでした。

■『史料宇都宮藩史』徳田浩淳／編（柏書房1971年）P 97～104

文化十年の藩政について読み下し文で記述があります。

■『宇都宮市史第6巻近世通史編』（宇都宮市1982年）

「文化の災害」P 93

■『宇都宮二荒山神社誌（通史編）』（宇都宮二荒山神社1990年）

「安永の大火と再建」P 139

■『宇都宮市消防沿革史』（宇都宮市消防本部1999年）

「過去の災害」P 206

中央図書館作成

# しせつめいさ

## 第14回 宇都宮市国際交流プラザ

国際交流プラザは、平成19年7月に、外国人住民の相談や情報提供などの生活支援、日本人住民と外国人住民の相互理解を充実させるための拠点施設として、うつのみや表参道スクエア5階に開設されました。語学講座も多数開催し、外国人住民だけでなく、外国語講座の受講者など、様々な方が利用しています。

### ■施設について

プラザの一角には、「情報提供コーナー」があります。ここには、日本語ボランティアの方へ向けた多様な言語の教科書や辞書、外国人へ向けた法律書、宇都宮市と提携する姉妹都市から寄付された洋書など、外国語学習に役立つ資料が置いてあります。また、翻訳された日本のマンガもあり、外国人が日本語を学ぶ手助けをしています。



↑プラザ入口では国際交流イベントや外国人向け生活情報のパンフレットなどを配布しています

資料は閲覧のみとなり、貸出はできません。室内に設置のコピー機を利用できます。

←コーナー内に飾られている姉妹都市からの記念品



↑情報提供コーナーの書架

←持ち帰り自由の寄贈本



### ■生活相談窓口

プラザでは、平日午後3時～6時の間、生活相談窓口を開いています。月・火・水・金・第4日曜日の各曜日に、5か国語に分けて行っています。木曜日には、宇都宮市役所でも開いています。日常生活の問題解決に向けて、外国人住民だけでなく、日本人の方からの相談も受け付けています。



### ■催し物

毎月第4土曜日午後4時から6時には、国際交流サロンを開催するほか、宇都宮市国際交流協会では、バーベキューの集いなど、外国人と触れ合うイベントや日本語教室を通年開催し、外国人の日本語学習を支援しています。

### ■職員からの一言

近年、外国人居住者が増えてきています。当施設では、国際理解や生活相談の場として、様々な支援を行っています。国際交流に興味がある、日常生活にお困りの際など、お気軽にご利用ください。



↑お話を伺った  
鈴木さん(左)  
石川さん(中央)  
武藤さん(右)

### DATA

#### 宇都宮市国際交流プラザ

##### ■所在地

〒320-0026

宇都宮市馬場通り4丁目1-1

(うつのみや表参道スクエア5階)

##### ■連絡先 028-616-1563

##### ■休館日 12月29日～1月3日

##### ■開館時間 午前10時～午後8時

##### ■ホームページ

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kyodo/shiminplaza/1006317.html>

### 館報としょかん 第227号

ホームページ <https://www.lib-utsunomiya.jp/>

(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



### ◆編集後記

南図書館で開催された子どもフェスティバル。当日は家族連れで参加する方も多く、とてもにぎやかな一日となりました。大人から子どもまで楽しめる催しものを、これからも企画していきたいです。(南)